

日四廿夕
磐城時報
編輯兼發行人 岡田弘成
印刷所 加納活版所
發行所 磐城時報社
廣告料 行字 月金 廿五圓
日刊 日曜 祝日 休刊

總額四十九萬九千圓

平町の積極豫算

廿八日に豫算町會招集

平町では十一年度豫算町會を廿八日招集するが、これに先立つて廿四日午後一時から豫算町會を開いた、明年度豫算總額は歳入歳出ともに四十九萬九千二百圓で前年度比増額で、なほ前年度實行豫算に比較すると十二萬九千二百五十三圓の増額を示してゐる。

十萬圓を起債す

戸數割は一戸平均額一圓増
歳入豫算編成の苦心

この尤大なる歳出豫算の増額に於て特別戸數割一戸平均額一圓増は町當局として均十八圓五十錢（前年度より一圓増）として總額に於て五十二圓三百圓を増加してをり

この各項目に於て實に二萬三千三百圓を増加して歳出面との七十九圓の減収を見越さねばならぬ均衡を計つてゐるのは青沼町長らぬだの結局歳出臨時部十一萬の堅實豫算としてその苦心を買圓のうち十萬圓を起債しにせざるべからざらう。

臨時部で十二萬圓増

續々計畫された新規事業

膨大な歳出豫算の概要

歳出臨時部の主なるものは小學校を記念し、さらに同事業の趣旨に於て前年より二七八五圓増になつた、なほ佐藤局長語る。

郡下兒童劍道大會

來月八日と決定

平武徳分會主催第二回郡下小學校兒童劍道大會は來月八日午前九時から平第三小學校講堂で舉行するが参加校は十數校で尋常科、高等科とも一校五名宛の小勳士が出場する。

振替貯金の仕組み

加入者の請求に依りその口座より金を出金したり又は入金するに依りその口座に金を入金したりする

振替貯金は貯金局又は其支店に口座即ち元帳を設けて置いて左記のやうな取扱を爲すものであります。

泥棒廢業願ひ

前科四犯の青年更生の自白

二十二日夜深更平署に駈込んで来た卅才位の男が『こんな罪の生活は清算したいんです』と自ら新倉早々宮城縣に流れ込み去る

泥醉暴行男の種々相

親の威光を笠に良民を泣す

飯野村上荒川魚行商黒澤藤一（二七）は二十三日午後九時ころ好間村からの行商の婦途焼酎四合余をあげて急ぎに気が大きくなり一面識もなく好間村大館農取訪某方に暴れ込み出産直後の産婦が臥床してゐるのもかまはさず戸障子を破壊家人に喰つてかゝる騒ぎに平署員検査留置場へ

八方散

平一水野

飲で切りに冷るはれ物の妙案
『挨拶學校長』
『挨拶學校長』
『挨拶學校長』

來月一日は
振替貯金記念日
平局の宣傳

悪の半生を清算
泥醉暴行男の種々相

優良工員募集

一、募集人員及應募資格
 1. 少年工者千名 來ル三月小學校高等科卒業スベキ者
 2. 中年工者千名 去ル一月又ハ昭和十年中ノ除隊兵ニシテ成ラベク電氣關係工事ニ經驗アル者
 以上何モ身體健全、言語明瞭、意志堅固ナル者ニシテ合格ノ上ハ平營業所ヨリ一里以內ニ居住スル事ヲ要ス

二、應募手續
 二月二十五日迄ニ自筆ノ履歷書ヲ當營業所ニ提出スル事

三、採否決定
 面會ノ日時ハ追テ通知ス
 採否ハ面會ノ上諸調査並ニ身體検査ヲ爲シ決定シ追テ決定通知ヲ爲ス

四、待遇
 1. 日給其ノ支給ニ關シテハ面會ノ際之ヲ示ス
 2. 少年工、中年工ニシテ勤務成績優良ナル者ハ事務又ハ工務ノ社員ニ登用ノ途アリ

昭和十一年二月 平町五丁目二〇

東部電力株式郡山支店
 平營業所

社員採用

二十才以上 五十五才迄
 個定給參拾圓外手當支給
 希望者は履歷書持參本人來談
 平町鍛冶町十八
 日本商事株式平支部
 擔保附 公債 現物買 擔保附

かまぼこ製造
 折詰仕出し
 お惣菜用 吉原揚 さつま揚
 平町二丁目 電話三〇五番
藤市

かまぼこ製造
 折詰仕出し
 平町二丁目 (電話一四一番)
 吉原揚

夜間
 診療
腸胃病
 胃腸病科
 内科
 花柳病科
 性病科
 泌尿器病科
 皮膚科
 肛門病科
門專
 院醫科性病胃腸村松
 (番七〇一電) 町南町平

吸入用酸素

純度 99%
 度量器
 体温器
 寒暖計
 秤ノ取緒・錘糸・修覆致シマス
 寫真機
 材料一式
關内藥局
 電話四〇番

ほねつき
桑原柔道整骨院
 平町公園下 (電話六七四)

RESTAURANT.
 TEA AND WINE
 洋食 喫茶
コンパル
 平町電六六六番

平町南町
X光線科
 上田外科醫院
 電話一二九番

理髮
東京
 平町三丁目警察署通リ
 親切は「理髮・東京」の出発点
 誠實は「理髮・東京」の生命線

内科 小兒科
 花柳病科
藤沼醫院
 平町紺屋町
 電話五〇七番

和洋銅鐵金物問屋
金屋商店
 諸橋久太郎
 電話九九

吉田眼科醫院
 平町紺屋町 (電話六八番)